

令和4年度福生市教育委員会教育方針

福生市教育委員会 教育長 石田 周

おはようございます。よろしく申し上げます。

令和4年第1回市議会定例会に当たり、貴重なお時間を頂戴いたしまして、教育方針を申し述べさせていただきますことを、心から感謝申し上げます。

令和4年度の教育方針を述べるに当たり、令和3年度の状況を振り返ってみたいと存じます。

【令和3年度の状況】

令和3年度も新型コロナウイルスの猛威のなか、度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されました。その中で、福生市教育委員会は、福生市のコロナ対策の基本方針に基づき、感染拡大防止に向けて様々な配慮や対応を行いつつ、福生市教育振興基本計画第2次に沿った学校教育と社会教育の充実に努めてまいりました。その際は、「感染リスクを恐れて実施しないのではなく、感染対策を万全にして実施すること」を、事業を企画する際の基本理念として位置付けて取り組みました。

まず、学校教育については、児童・生徒に一人1台 貸与したiPadの活用など、GIGAスクール構想によるICT教育の推進、福生市独自の学力・学習状況調査の実施と、その活用による学力向上策の着実な推進、発達の特徴から個別の支援が必要な児童・生徒に対する特別支援教育の推進、福生第一中学校に設置した不登校特例校分教室7組や、子ども応援館に開設している適応指導教室「そよかぜ教室」の活用による不登校対策の推進、幼稚園、保育園、小学校の円滑な接続に関する幼・保・小学校の連携に関する研究と、それに基づく「小学校第1学年スタートカリキュラム」の開発等が、大きな成果と言えます。

その一方で、新型コロナウイルス感染症によって、学校教育は大きな影響を受けました。児童・生徒は三密を避けるための行動や、手指消毒の徹底、教室等のこまめな換気、毎朝の検温、給食の黙食など、一定の制限・制約の中で学校生活の充実に取り組みました。また、緊急事態宣言発出等に伴う影響から、オリンピック東京大会が無観客開催となり、その結果、学校連携観戦が中止になったことや、一部の学校で修学旅行等、宿泊行事を中止・延期せざるを得ない状況もございました。子どもたちはその困難な状況にもめげず、着実に学び続けてくれました。子どもたちを勇気付け、個別に支え続けてくれたのは、各学校の先生方です。そして、学校に協力してくださった保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。教育委員会として感謝の念に堪えません。

次に社会教育の各事業も、学校教育と同様に、コロナ禍においても、市民の学びや地域コミュニティづくりを、極力、止めることのないように、それぞれの事業の実現に取り組みました。その結果、「福生市子ども議会」、「福生市成人式」「図書館 出前おはなし会 ぶっくん」「新春ふっさウォーキング」等の事業は、感染対策を万全に行って実施することができました。また、本市におけるスポーツ推進施策の礎となる「福生市スポーツ推進計画」の改定にも取り組んだところでございます。

その一方で、図書館、公民館等社会教育施設の閉館時間の短縮、市民文化祭の中止、市民音楽祭のオンデマンド開催、市民総合体育大会 総合開会式の分散開催等、コロナ禍の感染状況に応じた対応が必要な事業もございました。その一つ一つについて、各団体の皆様や、ご利用いただく市民の皆様に、丁寧な説明に心がけました。その結果、コロナ禍の社会教育に関する様々な状況について御理解いただき、御協力を賜ったことに、改めて感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございます。

続きまして、令和4年度の教育方針について、「基本方針」、「重要施策」について申し上げます。

【令和4年度 基本方針】

我が国は、現在、「グローバル化が進む世界経済」、「第4次産業革命のうねり」、「気候変動がもたらす持続可能性の危機」、そして「少子高齢・人口減少の進行」と、4つの歴史的転換点に直面しているといわれています。

世の中の動きは極めて速く、私たちは予測不可能な変化の中で、未来を切り拓いていかなければなりません。さらに、新型コロナウイルスによって、私たちの暮らしや働き方には大きな影響が生じています。

そのような中で福生市教育委員会は、第5期福生市総合計画が掲げる「人を育み夢を育む、未来につながるまち ふっさ」を、教育の面から実現していく必要があります。

時代を切り拓くカギは「人」です。福生市が、これからも継続して、和と洋の文化あふれるまち、水と緑のあふれるまちとして、住んでよかったと市民の皆様に思っていただけのためには、「教育」は最も重要な役割を果たすと考えます。

「教育」は、また、子どもたちの将来の可能性を最大限に引き出す力を持っています。誰一人取り残すことなく、すべての子どもが社会で大切にされ、支えられ、笑顔で伸びる・育つ。

一人1台貸与したタブレット端末 iPad等の活用によって、教育のデジタル・トランスフォーメーション DXを強かに推進し、個別最適な学びと、協働的な学びなど、「令和の日本型学校教育」を実現するとともに、いかなる状況下においても、

子どもたちの学びを止めることなく、子どもたちの笑顔が溢れる福生市を実現していきます。

さらに子どもたちは、学校のみならず地域社会の中で成長します。従って、子どもたちにとって、地域社会は極めて重要です。先ほど申し上げましたとおり、グローバル化の進展等、我が国は、4つの歴史的転換点に直面している中で、地域における社会教育・生涯学習に対するニーズも多様です。

多様性を踏まえ、これからのまちづくりや地域づくりに、社会教育・生涯学習の成果を生かすためには、「地域力」「市民力」を活用した地域社会との連携が欠かせません。そのため、福生市の誇る質の高い社会教育・生涯学習を一層推進し、コロナ禍においても、様々な学習機会を充実していくこと、伝統文化の継承していくこと、心身ともに健康な人づくりに向けた生涯スポーツを推進することに全力で取り組みます。

以上のように、令和4年度においても、福生市教育委員会は、学校教育、社会教育を通じて、人づくり、生きがいづくりに取り組み、誰一人取り残さない持続可能な福生市の教育を目指して参ります。

【令和4年度 重要施策】

続きまして、令和4年度の重要施策について申し上げます。ここからは、「福生市教育振興基本計画第2次」に掲げております、四つの基本方針に沿ってご説明させていただきます。

基本方針1、「子どもたちの『生きる力』の育成と個を伸ばす教育の充実」では、多様な子どもたちの可能性を引き出す、「令和の日本型学校教育」、すなわち個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現するための取組を進めてまいります。

そのためには、一人1台貸与したiPadの活用を、一層促進し、「福生市学力・学習状況調査」の結果とリンクした学習支援ソフトの活用を進めます。

iPadの活用に当たっては、各教室に配備する電子黒板や大型モニターの活用方法について、全小中学校の代表教員から構成する「ICT教育推進委員会」等で研修を深めるとともにデジタル教科書の活用の在り方等、教師の授業改善を推進します。

また、すべての子どもたちが、自分や、他の誰かを傷付けることのないよう、情報モラルの習得を含む情報活用能力の一層の習得を図ります。

各教科等の指導に当たっては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進いたします。とりわけ、習得した知識・技能と、既習の知識・技能とを組み合わせ、他者と協働して課題を解決していく力を育むことに取り組みます。

また、本市の強みである英語教育につきましては、これまでは、選考によって選抜した小・中学生 30 人を対象として実施してきた「ふっさっ子グローバルビレッジ事業」を改善・発展させ、令和 5 年 3 月に立川市に開設される東京都英語村、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」において、小学校第 5 学年すべての児童、及び中学校第 2 学年すべての生徒を対象として、英語教育の体験型プログラムを実施するなどして、「福生市英語教育推進計画」に掲げるグローバル人材としての資質や、英語力の向上を図ってまいります。

さて、令和 4 年度は、東京都教育委員会の研究指定地区として実施しております、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続に関する研究」が最終年度を迎えます。そこで、小学校におけるスタートカリキュラム・モデルや、市内幼稚園・保育園における教育・保育活動と、小学校第 1 学年の学習との「幼保小 接続モデル」について、令和 5 年 1 月に発表会を開催し、研究成果を各小学校の実践に結び付けます。同時に、市内全ての幼稚園・保育園に対して、研究成果を周知させていただき、引き続き「子育てするなら福生」の充実に向けて、教育委員会としても全力で取り組んでまいります。

3 年目を迎える不登校特例校分教室 7 組につきましては、生徒一人一人の特性や状況に寄り添った有意義な教育活動を展開し、そこから得た不登校の生徒を支える指導の在り方や生徒理解等の知見について、市内全校に発信することで、各学校において、誰一人取り残さない教育の実現を目指します。

子どもたちが学校生活の大半を過ごすのは、所属する学級です。改訂した「ふっさっ子学習・生活スタンダード」の活用を促進するとともに、子どもたちが自分の学級で生活するなかで、相手の考えや気持ち、立場などを想像し、積極的にコミュニケーションをする力や、豊かな道徳性、思いやりのある豊かな人間性、自分のよさを肯定的に捉える自尊感情や自己肯定感等を高めることができるように、魅力ある学級経営を全校で推進してまいります。

これらの取組を通じて、自分も友達も大切にすることを培い、いじめの未然防止と、早期発見、早期対応に努めてまいります。

子どもたちの体力の向上は、普遍的な教育課題の一つです。現在のコロナ禍においても、子どもたちの体力向上を図るとともに、心身ともに健康な生活を送ることができるよう、改訂した「福生市立学校の体力向上策」に基づき、体力の向上を図ってまいります。

学校給食については、食育の推進やアレルギー事故未然防止対策の徹底等、これまで同様、安全で安心な学校給食の提供に努めます。また、保護者の利便性の向上を図るため、給食費の納入方法について改善し、令和5年度からコンビニエンスストアで給食費を収められるよう、収納代行事務の導入に伴う事業委託を行います。

続きまして、基本方針2「教育施策推進のための環境整備」では、児童・生徒の個別最適な学びと協働的な学びを推進するために必要となる具体的な手立てや、公共施設の再編計画等、本市における諸計画を見据えながら福生市の教育施策の実現を目指して、令和4年度、新たに、「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」を設置いたします。

この委員会では、主に「小中一貫校の検討」「ICTの活用」「不登校対策」「コミュニティ・スクールの充実」の4点を検討いたしますが、令和4年度はそこから、「小中一貫校の在り方」等、小中一貫校の導入を視野に入れた検討を行う予定です。

改めて申し上げるまでもなく、学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習と生活の場であるとともに、社会スポーツや生涯学習の場でもあります。さらに、いざ災害が発生したとき、避難所として利用されます。従いまして、学校が、子どもたちをはじめ、学校を利用する地域の全ての方に、常に安全で、快適な場所であるために、学校施設・設備の維持・管理に向けて、引き続き努めてまいります。

続きまして、基本方針3「生涯を通じた学びによる豊かな地域づくり・人づくり」では、人生100年時代と言われる今、市民の皆様が、生涯にわたって学び、活躍できるように、学習活動や文化・芸術、スポーツ活動等に参加する機会や環境の充実に取り組みます。

中央図書館につきましては、空調設備の更新、エレベーターの設置等のバリアフリー化に向けた整備、長寿命化を図る「中央図書館改良事業」を令和4年度に着手いたします。改良工事中は、中央図書館は休館となることから、市民の皆様にはご不便をおかけいたしますが、分館のご利用をお願いするとともに、さくら会館に臨時窓口を開設し、予約資料の貸し出し業務を行います。

中央図書館の休館に伴い、福生市郷土資料室の事務所機能の一部を、旧ヤマジュウ田村家住宅に移設するとともに、文化財保護事務については、市役所本庁舎に移設し、文化財の調査・保全、伝統芸能や催事の伝承などを継続し、歴史遺産の保全に取り組みます。

さらに令和4年3月に改定した「福生市スポーツ推進計画」に基づき、市民のスポーツ習慣の定着促進や、健康増進、パラスポーツの理解促進と普及啓発を図るため、令和3年度に引き続き、パラスポーツの指導者等を招聘して「パラスポーツ体

験事業」を実施するなど、福生市におけるスポーツの推進に一層努めてまいります。

また、公民館本館、分館において、公民館サークルや市民活動団体等と、福生市教育委員会との協働による、「学びと活動の循環の形成」に引き続き取り組みます。公民館活動によって、地域における人々のネットワークを育み、広く強くつながり合える力を培うことで、地域コミュニティの維持と活性化に寄与して参ります。

最後に、基本方針4「地域社会総がかりでの教育の推進」では、持続可能な地域づくりを目指して、家庭、地域、学校で、連携・協働を推進するために、組織的、継続的な仕組みの構築に取り組むとともに、子どもたちが多様な世代の人々と交流をする中で、地域に対する愛着や誇りを育むことができるよう、地域ぐるみで子どもたちの成長を支えてまいります。

学校と地域の連携強化を目指して設置したコミュニティ・スクールにつきましては、指定から数年が経過し、各学校で、多様かつ特色ある取組が展開されております。その成果を共有していただき、地域社会総がかりでの教育を一層推進するため、市内全校のコミュニティ・スクール委員会の委員が一堂に会する「福生市コミュニティ・スクール総会」を、令和4年5月に、新たに開催する等、地域の多様な人材を活用した学校教育を支える取組を推進してまいります。

また、学校支援地域組織事業として、中学校第三学年を対象に、進学指導に特化した放課後学習支援事業である、「スタディ・アシスト事業」を令和4年度以降も継続して実施いたします。

結びとなりますが、冒頭申し上げました、「誰一人取り残さない福生市の教育」を令和4年度 目指してまいります。そのためには、「よりよい学校教育を実現することで、よりよい社会を創る」という理念を、学校と地域社会が共有し、お互いに持続可能な実践を行っていくことが重要です。教育による人づくりこそ、持続的に発展する福生市をつくる礎であり、未来への投資でもあります。

第5期福生市総合計画が掲げる「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」の実現に向けて、福生市の教育の持続、発展に、福生市教育委員会は、組織一丸となって取り組んでまいります。